

2026年 年はじめ

「三九郎」今年もにぎやかに

一月十二日、長野県中信地方では朝から澄んだ冬空が広がり、日中の気温は低めながらも穏やかな天候の中、恒例の三九郎が各地行われた。本地区でも子どもたちや多くの区民が集まり、正月飾りやだるまを持ち寄ってやぐらに火を入れると、勢いよく立ち上る炎に歓声が上がった。焼いた繭玉や餅を囲みながら、無病息災や五穀豊穰を願う姿が見られ、世代を超えた交流の場として今年もにぎわいを見せた。

一方で、準備や運営を担う人手の確保は年々難しさを増しており、生活様式の変化とともに行事への関わり方にも違いが見られる。伝統を大切にしたいという思いは共有されているものの、今後どのように継承していくかが課題となっている。地域のつながりを支える行事として、そのあり方が改めて問われている。

四コマ漫画



クロスワードパズル (答え合わせ)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
1	と	び	③	お		あ	ず	う	み	①⇒ き
2	②	う	か	ん		く	ら	っ	あ	②⇒ よ
3			が		⑥	ろ	ま			③⇒ う
4		あ	い	⑧		ね			て	④⇒ ど
5	ま	⑤				し	④	う	ま	⑤⇒ う
6		と	④	た		あ	め		④	⑥⇒ の
7		ろ	う		あ	れ				⑦⇒ す
8		ぼ	⑤		④	ん	せ	い		⑧⇒ み
9		い				ぽ		④	あ	⑨⇒ よ
10		⑩	ん	ど	ぞ	⑤				⑩⇒ い
										⑪⇒ ま
										⑫⇒ ち

令和7年度 新規転入者のご紹介

- ・前期新規加入世帯：11世帯
- ・後期新規加入世帯：3世帯
- ・高出二区総世帯数：388世帯

令和7年度、高出二区では新たに14世帯の加入があり、地域の活力向上が期待されます。また、先の記事でも触れたとおり夏祭りの予算拡充も見込まれ、交流の機会はさらに広がるでしょう。一方で世代間の価値観や地域活動への意識の差が見られる中、誰もが参加しやすい仕組みづくりや対話の場を意識的に設けることが、より住みやすく心地よい地域づくりにつながると考えます。